

報道関係各位

## がん治療中の仕事等のパフォーマンス自己評価を指標構築の研究に活用 iPhone アプリケーション「がんコル(QOL)」開発

2017年5月26日

国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜 斉、東京都中央区)中央病院(病院長:西田俊朗)は、がん患者の労働生産性(仕事のパフォーマンス)を含めた療養状況(QOL:Quality of life)の実態を把握し、治療開発における指標を構築するための研究を開始します。

労働生産年齢のがん罹患者数の増加や治療効果の向上により、働きながらかん治療を行う患者さんが増えています。一方で、治療による副作用は、がん患者さんの仕事のパフォーマンス(プレゼンティズム/アブセンティズム)など生活の質に大きく影響するため、在宅での副作用管理や事業所による配慮のあり方等の検討が急務です。

本研究では、がん治療と仕事のパフォーマンスなど患者さんの生活の質について実態を明らかにし、療養環境を改善する新たな指標構築を目指します。

実態調査は、Appleの医学研究のためのフレームワーク ResearchKit を使用し開発した iPhone アプリケーション「がんコル(QOL)」(がん患者 QOL)を用いて行います。「がんコル(QOL)」では、療養状況や労働生産性の評価において世界的に検証されている質問事項を設定し、患者さん自身が療養の質や仕事のパフォーマンスを評価します。また、「がんコル(QOL)」はがん患者さんでなくても研究に参加可能です。国立がん研究センターでは、この評価を数値化したデータを収集し、解析を行い研究に活用します。収集データに個人情報はありません。



研究に参加される患者さんは、継続的に自己評価を行うことで、過去の評価により導き出される現在のパフォーマンス評価(絶対的プレゼンティズム)や、同じがんや同世代の患者のパフォーマンスの平均値を見ることができます。また、治療内容やコメントが入力できるカレンダー機能もあり、体調管理に役立てることも出来ます。

## 研究対象者

がん患者さんを中心に、研究内容に同意いただける方であればどなたでも参加可能  
(がん患者さん以外のデータは、対照データとして活用します。)

## 参加方法

「がんコル(QOL)」アプリを App Store よりダウンロードし、参加してください。

操作方法など詳細は、以下のページをご覧ください。

[http://www.ncc.go.jp/jp/information/pr\\_release/gan\\_qol.html](http://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/gan_qol.html)

## 「がんコル(QOL)」アプリのダウンロード方法

5月26日午前10時より App Store にて無料でダウンロードすることが可能

## 研究費

2016年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成

「がん患者における労働生産性変化の実態調査(プレゼンティズム/アブセンティズムの解析から)」

研究代表 国立がん研究センター中央病院 先端医療科、肝胆膵内科 医員 近藤俊輔

## ResearchKit とは

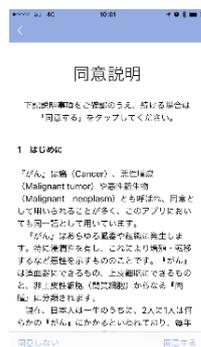
医学研究をサポートする目的で開発された Apple のオープンソース・フレームワークです。

<http://www.apple.com/jp/researchkit/>

## 「がんコレ」主な操作画面



- ① アプリ「がんコレ」を App Store よりダウンロードします。
- ② アプリを起動します。
- ③ 「がんコレ」の研究に関する説明をよくお読みください。



説明の後に同意していただくとアプリの使用が可能となります。



## ホーム

- ① がんと診断された患者さんは治療開始日(初めてがん治療を受けた日)を起点にアンケートが発生します。
- ② 毎日の QOL 調査(EQ-5D-5L 日本語版)と7日毎・28日毎の労働生産性の調査を含むアンケートを行っていただきます。
- ③ 毎日のアンケート調査(QOL 調査)はログとしてグラフ化されます。

\* がん患者さんではない方々は同意後アンケートが発生しますのでお答えいただくことにより研究に協力いただけます。



## あなたとみんなのパフォーマンス(WHO-HPQ short form 日本語版)

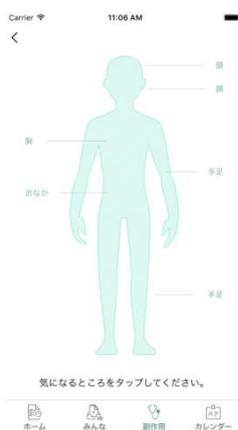
- ① 労働生産性調査(7日毎、28日毎のアンケートに含まれる)に答えることにより、あなた自身のパフォーマンス(絶対的プレゼンティズム)が示されます。
- ② 中段にはあなたを含む同じ病気のパフォーマンスが示され、下段にはあなたを含む同世代のパフォーマンスが示されます。

\* がん患者さんではない方に対してはご自身のパフォーマンスとがん患者さんを含む研究参加者のパフォーマンスが示されます。



## 副作用ログ (PRO-CTCAE 日本語版)

特に抗がん治療(化学療法、放射線治療や外科治療)を受けている患者さんは治療や病気そのものによる有害反応(副作用を含む)の記録が可能です。基本的には 7 日毎の質問票となりますが、毎日の体調を入力することにより、現在の有害反応が記録されます。



## 副作用入力

- ① 初めて入力する場合には、現在の症状が生じている体の部位はタッチすることにより各有害事象の入力が可能となります。
- ② 患者さん自身に生じている有害事象の種類と度合を入力することにより副作用ログにその記録が表示されます。



## カレンダー

研究参加者(特にがん患者さん)は(薬の)内服日、診察日や治療日などを簡単に入力しカレンダーで日程の管理が可能となります。また、カレンダー内には研究用アンケートの発生した日が示されており、カレンダーからアンケートへの入力が可能となります。

### <報道関係からのお問い合わせ先>

国立研究開発法人国立がん研究センター  
 企画戦略局 広報企画室  
 〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1  
 TEL: 03-3542-2511(代表)  
 E-mail: ncc-admin@ncc.go.jp